

令和5年 飯田市教育委員会6月定例会会議録

令和5年6月14日（水） 午後2時30分開会

【出席委員】

教育長	熊谷 邦千加
教育長職務代理者	北澤 正光
教育委員	三浦 弥生
教育委員	上河内 陽子
教育委員	野澤 稔弘

【出席職員】

教育次長	秦野 高彦
学校教育課長	福澤 好晃
学校教育専門幹	今井 栄浩
生涯学習・スポーツ課長	伊藤 弘
文化財保護活用課長兼考古博物館長	宮下 利彦
市公民館副館長	上沼 昭彦
文化会館館長	下井 善彦
中央図書館長	瀧本 明子
美術博物館副館長兼歴史研究所副所長	牧内 功
学校教育課長補佐兼総務係長	櫻井 英人
学校教育課教育企画係長	倉田 奨

日程第1 開 会

○教育長（熊谷邦千加） それでは時間になりましたので、令和5年6月定例会を始めます。よろしくお願いたします。

日程第2 会期の決定

○教育長（熊谷邦千加） 日程第2、会期の決定。6月定例会の会期を本日1日とさせていただきます。よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） お認めいただき、ありがとうございます。

日程第3 会議録署名委員の指名

○教育長（熊谷邦千加） 日程第3、会議録の署名委員の指名。本日の会議録署名委員を野澤稔弘教育委員さんをお願いします。

◇教育委員（野澤稔弘） はい。

○教育長（熊谷邦千加） よろしくお願いたします。

日程第4 会議録の承認

○教育長（熊谷邦千加） 日程第4、会議録の承認。5月定例会の会議録をご確認ください。何か修正点等ございましたらお願いたします。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

日程第5 教育長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第5、教育長報告事項。

別紙をご覧ください。

6月の報告事項でございますが、5月21日には南信美術展の表彰式がございました。表彰式のときにジュニア部門で選ばれた5人の高校生が「自作を語る会」というのを初めて開催をしたそうでございます。この美術展には、高校生から上は93歳だか4歳だったか、くらいの方たちが一堂に会して作品を展示しているのですが、その中でジュニア部門で表彰された5人が、自分の作品について思いや作品の創作過程を語っていました。もちろん

語ることが苦手な高校生もいたのですけども、先輩諸氏がその良さを伝えて、みんなが拍手するっていうようなもので、とてもいい試みだなというふうに思いました。

知事賞は山田麻裕さんという大学生なのですけど、この作品もとても大きな作品で、幽玄な感じがするのですけど、若さを感じられる、非常に色彩の美しい作品でありました。

全部で124点ということで、大変たくさんの作品でありました。

次に、鼎文化センターで子どもの成長を考える講演会ということで信大の医学部の特任教授、新美先生による講演があつて、大変大人数の方たちが参加されていました。

学校関係者の皆さん、児童委員さんはもとより一般の方も100人くらい参加されたということで、非常に不登校とか障害を持ったお子さんたちとか、そういったことについて関心が非常に高いなということを感じました。

そういう中で「学校は万能じゃない」と、「学校に合わない子はどういうことで困っているかということや、その対策」ということについてもお話がありました。

学校に子どもたちが合わせていたこれまでの時代から、学校が子どもたちに合わせて教育を工夫していく必要があるのではないかとということを感じたところでもあります。

それから丸山小学校150周年の記念式典に呼んでいただいて、地域の皆さん主体となって寄附を集め、緞帳とか校旗とかプロジェクターを新調されていました。

その中で最後の後半の交流会で、丸山の人たちの皆さん、丸山行進曲っていうのは全員が歌えるということで私は驚きましたけども、振りも付けられるということで、まさに長野県民が信濃の国を歌えるのと同じようです。その吹奏楽の演奏を丸山小学校のジュニア楽団というのかな、そして西中の生徒、それから卒業した高校生の生徒、吹奏楽の生徒ですね。それと西中の地域でやっている大人の、こちらもおばあちゃんっていう方もいらっしゃるみたいなので、そういう方たちがとても立派な演奏をされて、迫力があつてびっくりしました。それはもう部活の地域移行の未来の姿じゃないかなと、こうなったらいいんじゃないかなっていうのを見たような気がいたしました。

それから竜丘古墳まつりに5年ぶりの開催ということで行かせていただきましたけども、羽生公民館長さんが「東日本最大と言っていいほど立派な古墳だ」と、「地域の宝だ」ということを熱く語っていらっしゃったことが非常に地域の力を感じ、また熱を感じたところでした。

6月2日は大雨で、特に遠山地区・上村地区に大きな被害が出たときでありますけれども、このときは下校を早めたり引き渡しをしたりなどの対応を行いました。上村小学校は最初からオンラインの授業をしていたということで、事前の対応が、決め方が良かったな

あつていうふうに思いましたが、若干、遠山中の生徒が一人、道が塞がってしまったために友達の家へ泊まったというようなこともお聞きしております。

あと後ろは、飯田市議会第2回定例会の一般質問で出た内容を一番は略したり割愛したりしてまとめてありますが、それでも文字が多すぎていけないわけですが、またご覧をいただければと思います。

私からの報告事項は以上でございます。

何かご質問等ございましたら、よろしいですか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい。

日程第6 議案審議（6件）

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして、日程第6、議案審議に入ります。

本日は6つの議案についてご審議をいただきます。

議案第44号 令和5年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について

○教育長（熊谷邦千加） 最初に、議案第44号、令和5年度飯田市就学援助費支給対象者（要保護及び準要保護児童生徒援助費補助金関係）の認定について。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは議案第44号、令和5年度飯田市就学援助費支給対象者の認定についてでございます。

4ページをご覧いただければと思います。

飯田市就学援助費の支給について申請がありました認定対象者、別冊でご用意をいたしましたとおりでございます。

認定者の合計は1,026人、それぞれ記載をいたしました認定要件にて、認定いただきますようご提案申し上げます。

以上、よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいま説明のありました議案第44号につきましてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「特にありません」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） それではご承認いただいたということで進めたいと思います。ありがとうございます。

議案第45号 県教委と市教委相互の任免及び人事等に関する了解事項を取り交わすことについて

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第45号、県教委と市教委相互の任免及び人事等に関する了解事項を取り交わすことについて。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは5ページの議案第45号、県教委と市教委相互の任免及び人事等に関する了解事項を取り交わすことについてでございます。

長野県教育委員会と飯田市教育委員会において、例年この時期に取り交わしをしているものでございまして、昨年度同様に了解事項により覚書を取り交わしたいとするものでございます。

次のページ、6ページ目でございますが、こちらは了解事項の趣旨でございます。県教委と市教委が全県の視野に立って教育行政の適正かつ円滑な運営を図ることを目的に、教職員の任免、その他の進退等に関しまして、次のページの了解事項に基づき覚書を交わすものでございます。

8ページから9ページ目が覚書でございますので、ご覧ください。

覚書につきましては、記載の内容は昨年度と変更点はございません。他県と違う特徴的な部分のみご説明を申し上げますが、1の教職員の人事についての（4）教員についてのアですが、「教員の人事については、これを校長に立案させることが望ましい」という部分でございます。長野県の場合は、校長会の中で人事を担当していくということが例年行われているということで、覚書に記載がされております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 毎年交わしているものでございますが、改めてご確認をいただき、ご審議をいただきたいと思っております。

ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

（「特にございません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご承認いただいたということで進めてまいります。ありがとうございました。

議案第46号 学校運営協議会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第46号、「学校運営協議会委員の任命について」。

福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） それでは10ページの議案第46号、学校運営協議会委員の任命についてでございます。

学校運営協議会の委員につきましては、4月教育委員会定例会で任命をいただいておりますが、その後、浜井場小学校から追加と変更の推薦、高陵中学校から追加の推薦がございましたので、飯田市学校運営協議会規則第7条第1項及び第2項の規定によりまして任命したくご提案いたします。

任期は、同規則第9条第1項及び第2項の規定により令和6年3月31日までとなります。以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 議案第46号につきまして、ご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「特にありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。ご承認をいただきました。

議案第47号 飯田市社会教育委員が担う協議会等の委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続いて議案第47号、飯田市社会教育委員が担う協議会等の委員の委嘱について。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） 11ページをご覧ください。議案第47号、飯田市社会教育委員が担う協議会等の委員の委嘱についてお願いをいたします。

社会教育委員につきましては、5月の定例会で委員の委嘱についてご承認をいただきました。

社会教育委員につきましては、社会教育に関して教育委員会に助言するため教育委員会の諮問に応じ意見を述べるという役割がございまして、教育委員会の各課・館・所を設置をする協議会等の委員を担っていただいております。

お認めいただいた後、5月に開催しました第1回定例会において、推薦がありましたので、青少年育成推進委員、キャリア教育推進協議会の委員、中学生期の文化芸術・スポーツ活動連絡協議会の委員及びわが家の結いタイム推進協議会の委員を議案書記載のとおり委嘱をしたいとするものでございます。

なお、キャリア教育推進協議会の田添委員、中学生期の文化芸術・スポーツ活動連携協議会の三浦委員につきましては、5月の定例会でご承認をいただいておりますので、新たに社会教育委員の立場として委嘱をするというものでございます。

よろしく願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 議案第 47 号につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（「ありません」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） よろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ご承認をいただきまして、ありがとうございます。

議案第 48 号 飯田市文化財専門委員会委員の任命について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、議案第 48 号、飯田市文化財専門委員会委員の任命について。

宮下文化財保護活用課長。

◎文化財保護活用課長兼考古博物館長（宮下利彦） 資料 12 ページ、議案第 48 号、飯田市文化財専門委員会委員の任命についてお願いをいたします。

史跡恒川官衙遺跡の整備事業に係ります文化財専門委員会委員の任期満了に伴いまして、飯田市文化財保護条例の規定により、8 名の方を委員に任命したく提案をするものでございます。

委員の任期は令和 7 年 3 月 31 日までの 2 年間でございます。

委員に任命をします、氏名・住所・所属等につきましては、議案書に記載のとおりでございます。

資料 13 ページには、補足説明資料を添付しております。内容は文化財保護条例の中で専門委員会の関係条項を抜粋したものとなりますが、難しい表現の言葉が並んでおりますので、具体的に説明をいたしますと、この専門委員会は、当課で推進する史跡恒川官衙遺跡の保存活用を図るための史跡整備事業の事業計画案に関しまして文化財保護、あるいは地域活性化の観点からご意見を述べていただき、整備事業の推進に役立てているところでございます。

説明は以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） 議案第 48 号につきましてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「ありません」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） ご承認をいただきました。ありがとうございます。

議案第49号 公民館運営審議会委員の委嘱について

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして議案第49号、公民館運営審議会委員の委嘱について。

上沼飯田市公民館副館長。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） 14ページをお願いいたします。

議案第49号、公民館運営審議会委員の委嘱についてでございます。

本議案は、公民館運営審議会委員の欠員が生じたため、飯田市公民館条例第6条第1項に基づき委嘱したく提案するものでございます。

公民館運営審議会の委員の一部は、団体から推薦をいただいておりますが、この度団体からの申し出により推薦者に変更が生じたため、新たに委嘱をしたいというものでございます。

委嘱をいたします委員は、議案書のとおり2名の方でございます。

なお、新たに委嘱する委員の任期は、飯田市公民館条例の第6条第3項により、前任者の残任期間とされており、今回は令和6年3月31日までとなります。

以上、よろしくをお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） ただいま説明のありました議案第49号につきましてご審議をいただきます。

ご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

(「特にありません」との声あり)

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。ご承認をいただいたということで次へ進んでまいります。

日程第7 協議事項

○教育長（熊谷邦千加） 日程第7、協議事項。今回はなしということでございます。

日程第8 陳情審議

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、日程第8、陳情審議。これも今回なしということでございます。

日程第9 その他

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして日程第9、その他。

（1）教育委員報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （1）教育委員報告事項。

教育委員さんでご報告いただける内容がございましたらお願いいたします。

野澤委員さんからお願いいたします。

◇教育委員（野澤稔弘） 私の知り合いになるのですけれども、バレーボールのVリーグの一部リーグに長野県のチームが入っているのですが、ご存知ですかね。「トライデンツ」というチームなのですが、そこの社長さんと知り合いなのですが、その方が「学校の例えば体育の授業とか部活とかそういったところの場で、呼んでいただければボランティアでいろんな指導をしたりとか、そういうことをやらせていただけないですか」というお話がありましたので、この場で報告申し上げます。

彼らにしてみると、バレーボールを普及したいというのがあるのだと思うのですが、そういうことではなくて、「例えば先生方がどうしても時間が取れないとか、うまく部活ができないとか、そういったところを支えられるような形になればいいかなと思っている」ということで申し出がありましたので、とりあえずその話をお伝えします。

お願いします。

○教育長（熊谷邦千加） それは、社長さん自らじゃなくて誰かを派遣して下さったりとか。

◇教育委員（野澤稔弘） チームのトレーナーだったり選手だったりですね。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。それは無償で。

◇教育委員（野澤稔弘） 「もちろん、無償でやります」と。

○教育長（熊谷邦千加） ぜひ校長会で紹介していただいているのですかね。

◇教育委員（野澤稔弘） 現状、諏訪の学校とかでも実際に活動しているということなので、「ぜひ飯田でも南信でも」という話がありましたので。

○教育長（熊谷邦千加） 「トライデンツ」というチームですね。私も聞いたことがあります。

◇教育委員（野澤稔弘） 一応V1の一部リーグチームで、長野県のチームです。笹川さんという方が社長をやっています。

○教育長（熊谷邦千加） 秦野次長。

◎教育次長（秦野高彦） 去年6月26日に、ムトスぶらざで「VCトライデンツ」の選手たちの

イベントを開いていただきました。「VCトライデント」では、地域の人たちと一緒にこうやっていきたいというようなことを考えられていました。公民館も協力をさせていただいたというご縁もございますので、ご報告をさせていただきます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございます。

さらにいかがでしょうか。

北澤職務代理、お願いします。

◇教育長職務代理者（北澤正光） 一昨日ですけれど、12日に県の主幹指導主事、それから飯田事務所の所長の学校訪問に帯同して龍江小に行ってきました。4月24日に教育長と一緒に龍江小へ学校訪問して、全教室を見せていただいてあって、今回また全教室を見させていただいた。40日ほどたっただけですけれど、学校は動いているというのが正直な思いです。4月に行ったときは、一年生はまだ張り切っているといいますか、緊張した面持ちでいましたけれど、40日たって行ったら一年生も随分落ち着いて、アサガオの観察の授業に集中して取り組んでいるような姿とか、五年生は宿泊の社会見学が終わったばかりで、その社会見学のことを題材に一人一人が新聞づくりをしている最中で、目の前に見たお子さんは、手づくりで体験したえびせんのことを新聞にまとめていました。「おいしかった」って聞いたら、「ジュワー」、「パリッ」と音まで入れておいしかったという話をしてくれました。

そんな中で2点申し上げます。1点は、特性のある子が転入してきたというようなことがあって、今年、市教委の配慮もあって、特別支援教育支援員を2名にしてもらったというのを非常に感謝しておられました。そういうふうにしていただいたおかげで、かなり特性の強いお子さんなのですが、非常に落ち着いた生活ができているということで、その子のつくった短歌が4首ほど掲示されていました。とっても感性の豊かなものが掲示されていて驚きました。

そんな中、市でお願いした支援員の方のお力ももちろんですけれど、「地域の支援ボランティアの方が日替わりで学校に入ってくれて、一緒にその子にも関わって支えてくれる」という話がありました。「近所のおじさんなので、その子もとっても安心して関わりが持てている」という話で、「インクルーシブ」と言ったとき、生涯にわたってのインクルーシブというか、最後は地域が受け止めていくので、そういった観点の一つ方向なのかなということも思いました。

あわせて、龍江小は校長先生の方針もあって、かなり地域と関わっていますので、ちょうど行った日は地域の竹林を整備している方たち、「はちくの会」の皆さんが、その日の朝

早くに自分たちの手入れしている竹林からまさに今、旬の淡竹のタケノコですね。それをたくさん採って給食センターへ持っていき、それが調理されて給食の汁の中にタケノコが入っていて、しかもその日は中学が中体連の関係でお休みだったので、竜峡調理場は小学生全員、五平餅が出た日なのです。五平餅と「はちくの会」の皆さんが提供したタケノコのお汁の献立で、それを「はちくの会」の皆さんも一緒に六年生と給食を味わっていると聞いた姿を見てきました。

なおかつ、五平餅は一人に3つずつなのですけれど、その3つを乗せるために「はちくの会」の皆さんと数日前に作った竹製のお皿によそって味わっているという、非常に風情のある場面も提供されていました。学校の狙いは実はもっと違うところにあって、非常に素直だけれど、表現力が今一步だという課題を持っている子たちだと、先生方は受け止めているので、地域の人と関わりながら、地域のことを子どもたちに発信させる場面を作りたい。表現力を磨くために地域のとの関わりを大事にしているというのが学校の狙いで、地域の皆さんも学校の願いを聞いて、「それならうんと関わってやろうじゃないか」ということで、今、関わってもらっていると。

それで龍江小の子たちも、龍江の良さを発信し有名にするというのが、子どもたちの願いで、今年は学校が運営されている。そういうようにやっていくと、前から話題になっているキャリア教育のこととか、コミュニティスクールの本来の在り方といったことも絡んでいるのかなというのが1点目です。

2点目は、先ほどの教育長報告の中に、市議会で清水優一郎議員が質問されていることと関わるのですが、子どもの減少です。

龍江小の状況をつぶさに聞いてくると、昭和48年、ちょうど50年前ですね。50年前に300名いた児童が今年109名、約3分の1になっている。50年間で3分の1になっているという状況に加えて、去年の龍江地区の新生児4名、それから川路地区が3名、三穂地区が7名、そうするといずれ12年後に竜峡中へこの子たちがそのまま入学したとすると、竜峡中学校は1学年が14名しかいないという、そういう中学校になってしまうという現実をお聞きしてきました。

龍江小だけ見ても令和11年度には全校児童が58名ということで、今よりさらに50名減るとい、そういう状況がもう目の前にあるという話を聞いてきました。ちょうど今年から学校のあり方審議会が立ち上がって審議を始めていただくところなのですけれど、改めて現実をしっかりと受け止めて、より良い学校のあり方、環境の整え方を考えていくことは待ったなし、先送りは許されないことだということを痛感して帰ってきました。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

非常に少子化に対する危機意識を持って取り組んでいただいているかなというふうに思いますし、そういった特別支援に必要なお子さんへの支援というものは、山本小学校でも地域の方、支援をされているということを知っています。

なかなか、支援員の加配も毎年増やしているのですが、現状に追いつかないので、非常に喜んでいただけると大変こちらも苦勞して配置をしたことが良かったなということになるな、ありがたいなと思ってお聞きいたしました。

さらに報告についてございますか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） よろしいですかね。

2人の報告につきまして、何かご質問、ご意見ありましたら。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（2）教育次長報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして日程第9の（2）教育次長報告事項。

秦野教育次長。

◎教育次長（秦野高彦） 報告事項ということで、1つご報告を差し上げたいと思います。

先ほど、教育長報告事項で5番目に大雨の対応についてご報告をさせていただいたのですけれども、今回、ICTを担当している櫻田先生に、せっかく電子黒板があって、それで各学校へインターネットの環境があるというようなことで、「情報を一元化してここへ標示できるようになりませんか」とご相談を差し上げたところ、下校の状況だとか、学校の状況だとか、あと児童館の状況というのを一覽で電子黒板へ表示して共有できるという体制をすぐ作ってくれました。

市の災害対策本部会議、私と教育長と2人で出席をするのですけれども、その場でも端末さえ持っておれば、リアルタイムで現在の全学校の状況が常に更新されて見えているというようなものを作っていただくことができたということで、ICTの道具としての活用という部分は、災害時でも進んだなと感じておりますので、また機会があればご覧いただければと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ただいまの報告事項について何かご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい。

後の報告事項につきしては、最後にまとめてご質問、ご意見をいただきたいと思います。

（3）学校教育課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （3）学校教育課関係報告事項。

倉田係長。

◎学校教育課教育企画係長（倉田 奨） 学校教育課の教育企画係の倉田です。

それでは私から、飯田市これからの学校のあり方審議会についての報告をさせていただきます。

本日の資料 15 ページ、資料No.1 をお開きください。

5月 25 日に第 1 回飯田市これからの学校のあり方審議会を開催いたしましたので、その報告をいたします。

審議会設置の趣旨につきましては、飯田市の学校を取り巻く教育環境の変化への対応に必要な調査審議をするため、飯田市これからの学校のあり方審議会条例に基づき設置するもので、15 名の委員を任命しております。

任命した委員の一覧を資料に掲載しておりますので、委員の詳細は資料よりお読み取りいただきたいと存じます。

第 1 回審議会では、任命書の交付、正副会長の選出、教育委員会からの諮問を行ったほか、これまでの取組経過と今後のスケジュール案等について報告・説明しております。会議資料及び会議録は、後日飯田市公式ウェブサイトに掲載を予定しております。

諮問内容については、資料 16 ページに掲載をしております。諮問の趣旨が 1 のところに書いてありますけれども、具体的には 2 項目、「飯田市小中学校のこれからの配置・枠組みのあり方について」と「特色と魅力ある教育活動のあり方について」を調査・審議、提言をいただくよう諮問をしております。

今後の予定ですが、令和 5・6 年度に審議会を開催し、答申をいただいた後、基本方針（案）を策定。基本方針（案）について広く市民の意見をいただき、意見を踏まえて基本方針を決定することとしております。

資料 17 ページからは、学校の教育環境の変化と課題としまして、飯田市の児童生徒数、

学級数の推移、学校別の整備状況等の課題と状況、また学校の果たす役割やあり方検討の柱とするテーマ等について掲載しております。

それから 20 ページには、今までの取組と今後のスケジュールの予定を掲載しておりますのと、今年度の今後の審議スケジュールを掲載しております。これは第 1 回審議会の際にお示しをした資料から抜粋をしておりますが、今までの取組と今後のスケジュールの部分では、審議会委員から「審議会と学校運営協議会や各種懇談会等との関係性が分かりにくい」というご意見をいただきまして、その間に必要に応じて情報提供や意見収集をさせていただくという矢印を追加したものでございます。

以上、報告とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして、飯田市議会出前講座について。

今井専門幹。

◎学校教育専門幹（今井栄浩） それではお願いいたします。

21 ページ、資料No.2 になります。

飯田市議会広報広聴委員会から飯田市議会の出前講座についての依頼がありましたので、校長会で学校での活用を依頼いたします。

コロナ禍で令和 2 年・3 年・4 年と 3 年間控えておりましたが、今年度からまた出前講座を再開したいということで依頼を受けました。

令和元年度の 12 月には、山本小学校の六年生で実施をしております。このときは議会について全体に説明した後、グループになり、議員の皆さんもグループに入って児童からの質問に答えたり、意見交換をしたりという学習をしております。また、今年度、既に山本小学校の六年生から飯田市議会に出前講座の依頼を受けているということで、今後多くの学校にお知らせをして児童生徒の学習に活用していただくように考えております。

以上であります。

○教育長（熊谷邦千加） はい、福澤学校教育課長。

◎学校教育課長（福澤好晃） 学校教育課関係の報告事項で 1 件追加でご報告を申し上げます。

先日 6 月 1 日に毎年のご報告でございますが、綿半ホールディングスさんから 200 万円、野原ホールディングスさんから 100 万円、合わせて 300 万円を龍峽育英会さんへ寄附をいただいております。

それから、その後にはなりますが、市内の在住の方から 300 万円のご寄附がございまして、その方は匿名を希望されておりますが、できればその方の在住の地区の小学校でご活用いただきたいということで寄附の案件が 2 件ございましたので、ここでご報告を申し上げ

げます。

以上です。

(4) 生涯学習・スポーツ課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） では、続きまして（4）生涯学習・スポーツ課関係報告事項。

伊藤生涯学習・スポーツ課長。

◎生涯学習・スポーツ課長（伊藤 弘） それでは資料27ページをお願いいたします。

学校部活動の地域移行に向けた取組ということで、5月の定例会で連携協議会の委員の委嘱についてご承認をいただきまして、5月24日に第1回目の会議を開催しております。

1番に書いてありますのは、連携協議会の組織図とその下が将来的な地域の中の活動のイメージ図ということで、協議会の中で一旦事務局案というような形になりますけれども、お示しをしたものでございます。

第1回目の会議につきましては、この会議の連携協議会の目的等の説明の後にスポーツと文化・芸術に分かれて、それぞれ委員の皆さん4人くらいのグループに分かれて、現状や課題、それから目指す生徒像、すぐにできることと、長期間で考えていくってというような内容でそれぞれグループワークを行っていただいております。

それぞれ左側に文化芸術、右側にスポーツ活動ということですが、特に文化芸術ではやはりスポーツより少し取組が遅れていますので、吹奏楽やなんかの練習場所やなんかに課題があること。それから「少し学術的な研究の部活動みたいなものがやはり少ないのではないか」というようなご意見もありましたし、下から2つ目にあります成果主義や大人の過熱化ってというようなことが、これスポーツの勝利至上主義ともつながるようなことですが、文化活動でも出されております。

目指す生徒像では、共通するのが自分で考えて計画・実行できるってというような、これは生徒の主体性みたいなことをやはり大切にすることってことは共通したご意見としていただいております。

おめくりいただいて、次のページをお願いいたします。

それぞれ地域の中で中学生の活動の場を広げていくということで、前向きなご意見をいただきましたけれども、今後ですけれども、まずは目指す考え方や目的、方向性については、事務局案として説明をしておりますが、今後（4）番にありますようにスポーツと文化部会、それぞれを今月から始めてまいりますので、そういった中で少し考え方をご議論いただきながら整理をしていくってということと、それから具体的には現場の地域の中での

活動の場をどうつくっていくかっていうことが大事になってまいりますので、②番から⑥番までいろいろございますけれども、それぞれいろんな取組を並行しながらご意見をいただきながら、進めていくということになります。

部会ですけれども、年内の11月の第2回目の連携協議会までにそれぞれ2回から3回程度開催をしていく予定でありまして、その後11月と2月には全体の本部会ということで1年かけて一定の方向性みたいなものは少し見出していければというふうに考えております。

大きな2番でございますけれども、今年度から支援コーディネーターの配置をしております。学校の現場では当面、平日の部活動と並行しながら中体連等の大会のあり方も大きく変わってくるということで、現場の中でいろんな悩みがあると思いますので、7月くらいにかけてコーディネーターが学校を訪問しながら、いろんな課題を把握しながら今後の検討に生かしていきたいというふうに思っております。

大きな考え方としますと、これまで取り組んできました適正な部活動の継続、それから生徒の主体性を育む、そういった取組については継続をしていくという考え方を持っておりますので、(2)番にあるような「ジブン・チャレンジ」であったり、生徒主体の部活動運営、そういったことについては6月の校長会でまたお願いをしながら取り組んでいきたいと思っております。

まだまだ課題がたくさんありますけれども、先ほど野澤委員さんからラインデンツの指導のボランティアというお話もありますので、そういった内容を共有しながら、これからのあり方をしっかり考えていきたいと考えております。

以上です。よろしくお願ひします。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(5) 文化財保護活用課関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） それでは続きまして（5）文化財保護活用課関係報告事項。

宮下課長。

◎文化財保護活用課長兼考古博物館長（宮下利彦） 口頭報告になりますが、5月28日の日曜日に「いいだの古墳探検隊」と称しまして、考古博物館と竜丘地区の古墳探検を現地解説付きで実施をいたしました。小学校四年生から六年生の親子7組、高校三年生が1名、一般の方が6名、合計21名の市民の皆さんに参加をいただいて、古墳を楽しんでいただきました。

アンケートでは、「地域探検のクラブ長として今日知ったことをクラブのみんなに教えて

古墳のことを広めたい」という小学校六年生の女の子、「古墳のこと学ぶのは小学校以来。改めていろいろと学ぶことができた。高校での地域探究授業といたします」という高校三年生の男子の生徒の方からご意見をいただいて、職員も達成感を感じまして、秋の開催に向けて準備をしていきたいと思っております。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（6）公民館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （6）公民館関係報告事項。

◎市公民館副館長（上沼昭彦） 今回、特にございませぬ。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（7）文化会館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） （7）文化会館関係報告事項。

下井文化会館長。

◎文化会館館長（下井善彦） それではご案内です。

まずは人形劇フェスタでございます。今日は有料公演ガイドをお手元にお配りをいたしております。折り込みで入っておりますものでございます。会期としては8月の頭3日から6日まででございます。

今回は有料公演ガイドのご案内ということでチケットの発売、それからワッペンの発売が6月25日ということで計画をされております。今回は海外全般ということではなくて、韓国と台湾に絞ってお呼びするということでご案内をしております。またご覧ください。

それからもう1枚A4の縦型の「ミュージカル北斎マンガ」という黄色いチラシですけれども、お手元にご案内をしておりますが、こちらはここにあるとおり、宝くじの助成を使ったものでございまして、「ミュージカル北斎マンガ」を予定しております。9月3日でございます。こちらが発売が6月27日ということで間近でありますけれども、宝くじということで格安で閲覧いただけるということでございますので、ぜひ機会がありましたらお願いしたいと思います。

文化会館からは以上であります。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

(8) 図書館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加）　続きまして、図書館関係報告事項。

　　瀧本館長、お願いします。

◎中央図書館長（瀧本明子）　お願いします。

　　資料最後のページ、資料No.4をご覧ください。

　　南信州図書館ネットワークのコンピュータシステム更新に伴う臨時休館についてお願いいたします。

　　南信州図書館ネットワークのコンピュータシステムは、本の所蔵情報などを松川町、高森町、喬木村、豊丘村と共有して使用しているものです。

　　今年度の10月1日に現在使っております図書館のコンピュータシステムの更新を予定しております。それに伴いまして、直前の約2週間、9月18日の月曜日から30日土曜日まで図書館を臨時休館させていただきます。中央図書館・県図書館・上郷図書館・駅前図書館がお休みになります。各地区にあります分館は通常どおり開館いたします。

　　休館に伴いまして、インターネットによる蔵書の検索もできなくなります。また、図書館の蔵書検索では、美術博物館・歴史研究所・飯田市考古博物館の所蔵図書も登録されておりまして、検索できるようになっておりますけれども、こちらも検索が休館中はできなくなります。

　　普段、図書館を使っている皆さんには、ご不便をおかけすることになりますけれども、旧システムから新システムへ確実に移行を行うための休館ですので、ご理解をいただきたいと思っております。

　　もう1点、別紙の水色のチラシをご覧ください。

　　6月25日の日曜日に中央図書館で志川節子さんの著書『博覧男爵』を読んで田中芳男を語ろう！という読書会を行います。

　　5月の研修会ですとか定例会で三浦委員さんのお話もございましたけれども、飯田出身の田中芳男について、NHKのドラマ「らんまん」でも登場をしておりますこの機会に多くの方に知っていただきたい。また、本を読んで参加者同士で語り合う機会としたいということで読書会を企画しました。

　　本の初めのほうに市岡家の標本というものも出てまいりますが、そちらについても図書館の資料としてご紹介をする予定でおります。多くの方にご参加いただきたいと考えております。

　　以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

（9）美術博物館関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（9）美術博物館関係報告事項。

牧内美術博物館副館長。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それではお手元にお配りしました「びはくにゅーす」7月号でございますが、7月に予定しております美術博物館と考古博物館の主催する事業等でございます。

ちょうど今、燻蒸が終わりまして今、展示替えをしておりますが、6月17日から新たな展示が4本ほどございますので、またご覧いただければと思います。

6月からプラネタリウムも夏の番組に切り替わっております。

裏面にいきまして、考古博物館で夏休みの「ワクワク考古塾」ということで2つの講座がございます。

あと美術博物館の文化講座ですけれども、トピック展示でユネスコ無形文化遺産に登録された風流踊を展示するというので、その関係の講座等がございますので、また時間がありましたら来ていただければと思います。

以上でございます。

○教育長（熊谷邦千加） はい。

（10）歴史研究所関係報告事項

○教育長（熊谷邦千加） 続きまして（10）歴史研究所関係報告事項。

牧内副所長、お願いします。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） それではお手元にお配りしました6月1日に発行しました歴研ニュース124号、ご覧いただければと思います。

表紙は、今年度の各研究員等の研究計画が掲載してございます。

開いていただいておりますが、今年2人特任研究員が新たに就任しましたので、あいさつ文と地域史研究集会の紹介等を書いてあります。

一番後ろは、今月以降のアカデミア、あとは歴研のゼミにつきまして掲載してございます。時間があるときにまたお目通しいただければと思いますのでよろしく申し上げます。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） 以上の報告事項につきまして、ご質問、ご意見がありましたらお願い

いたします。

よろしいでしょうか。

伊坪特任研究員と前澤特任研究員は、お二人新しく入られたということですね。

◎美術博物館副館長兼歴史研究所副所長（牧内 功） はい。

○教育長（熊谷邦千加） 特によろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○教育長（熊谷邦千加） はい、それではここまでの議題等につきまして、何か言いそびれていることがありましたら、あるいはそのほかのことをございましたらいかがでしょうか。

上河内委員さん。

◇教育委員（上河内陽子） 娘が美術博物館の中学校の美術学校に参加させていただきました。

中学校三年生になるわけなのですけれども、先日、中体連で中学生も先に進む人もいれば、そこで部活動が終わるといふ子どもたちもいるわけなのですけれども、その後の受験勉強だけではなくて、ジブン・チャレンジというものでいろいろなメニューが飯田市の中には用意されているというのが、ちょっとここ何年かでうんと変わった部分だなというふうに実感します。

うちの娘は部活をやっていなかったのですが、その美術学校で先生にとってもいい画材を使わせていただきながら墨絵を描いたということで、すごく充実した顔をして帰ってきました。

部活動が終わった後であっても、子どもたちが自分がやりたいなと思ったことができるというチャンスがあるというのがすごくうれしいことだなと実感しています。

そしてさらに言いますと、いろいろ図書館とか美術博物館だけじゃなくて、歴史研究所などでも社会教育の部分でいろいろな学習会とか講座とかがあるので、大人も一緒になって勉強していきたいなと、この頃さらにまた一段と感じております。

以上です。

○教育長（熊谷邦千加） ありがとうございます。

全市型競技別スポーツスクールも、中三の部活が終わった子たちが意外と参加していたりすることもあり、そういう意味では「はい、これで受験勉強」と子どもたちが切り替えられないので、そういうときにも参加いただくとありがたいと思います。また、美術学校もまだこれからもあつたりしますので、多くの子どもたちがまた素晴らしい作品を作るのではないかと考えております。

ほかよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい、ありがとうございました。

(11) 今後の日程について

○教育長（熊谷邦千加） それでは今後の日程について。

櫻井課長補佐。

◎学校教育課長補佐兼総務係長（櫻井英人） それでは資料3ページ、今後の日程についてお願いいたします。

6月15日、明日ですけれども、第1回小中連携・一貫教育推進委員会がありますので、ご出席をお願いしたいと思います。

また、飯田市校長会、飯田市教頭会が6月20日と7月11日に予定されておりますが、こちらは北澤職務代理者の出席をお願いしたいと思います。

7月14日は三遠南信教育サミットが飯田文化会館であります。

次回の定例会は、7月25日火曜日でございますので、よろしく申し上げます。

○教育長（熊谷邦千加） 日程はよろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○教育長（熊谷邦千加） はい。

日程第10 閉会

○教育長（熊谷邦千加） 日程第10、以上で「閉会」とします。お疲れ様でした。

閉 会 午後3時30分